

かわにし市民会議からの提案

～ 第5班 やりがいの持てる地域活動の促進～

以下の4つの提案は、私たち第5班の会議参加者が、5回にわたって議論してきたことや、各回で記載した「改善提案シート」の内容を中心にまとめたものです。

提案

1. 地域での交流や活動の場としての様々な地域コミュニティの活動目的などを明確にし、誰もが積極的に参加したくなる環境をつくる

提案

2. 高齢者が気軽に地域で活動できるような環境をつくる

提案

3. 災害発生時にお互いを支えあえるような地域交流を行う

提案

4. 地域活動の情報を集約し、誰もが手軽に情報を手に入れることができる仕組みをつくり、地域交流を促進する

1. 地域での交流や活動の場としての様々な地域コミュニティの活動目的などを明確にし、誰もが積極的に参加したくなる環境をつくる

【提案内容】

川西市では、自治会加入率が6割を切り、この10年で1割以上低下するなど地域での交流や活動の場が衰退している。その背景として、自治会の必要性や活動内容が十分に理解されていない状況があるとわかった。そのため、自治会などの地域コミュニティの目的や意義を明確にし、誰もが参加したくなる環境づくりに努める必要がある。

「提案1」の実現に向けて、それぞれが行うこと

個人

- 自分が住む地域に興味を持つ。
- 近所の人をまず知り、積極的に笑顔で挨拶する。
- 自治会の役割を知り加入する。
- 知人に地域での活動状況を伝え、自治会への加入を促す。
- 行事や活動に参加し、その情報を SNS で発信・共有する。

地域

- 各地域で自治会の在り方や役割を話し合う。
- 自治会やコミュニティに求められていること、やってほしい事を集約し、活動や取組みを整理する。
- 自治会の活動情報の伝え方を工夫する。
- ゴミステーションに広告を貼ったり、クラウドファンディングをするなど、自治会運営費を得る方法を考える。
- 子どもに参加してもらうことで、大人同士（親同士）の交流の場を作る。

行政

- 自治会の役割について、SNS 等を活用しわかりやすく伝える。
- 各自治会の取組事例や先行事例を共有する。
- 地域が主催するイベントをサポートする。
- 地域の活動内容発表の場を設ける。
- ボランティア活動団体などのPRを工夫して伝える。

民間企業、 NPO等

- 近隣の大学や高校の生徒・学生が地域活動に参加する。
- 事業者やNPOが人材や資源、ノウハウを提供する。

その他の意見

10年20年先自治会がないとどうなるか考える必要がある。

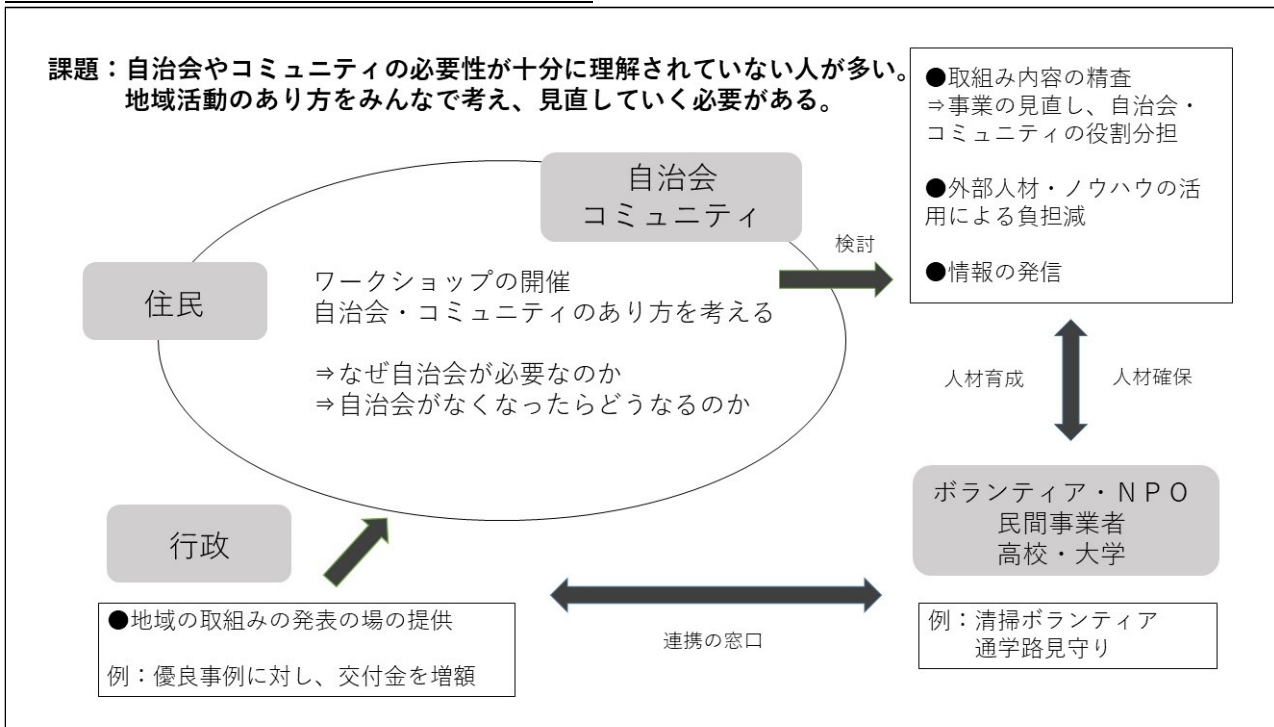
障がい者や留学生とコミュニケーションをとる場が少ないのではないか。

地域行事が高齢者で占められていると感じる。

～提案内容の具体的なイメージ～

主体	取り組み内容	具体的なイメージ
地域	自治会やコミュニティの活動情報の伝え方を工夫する	<ul style="list-style-type: none">・自治会の役割などを分かりやすく発信する・SNSを活用するなど、若者や子育て世帯への情報発信に力を入れる・高齢者が情報を入手しやすいように掲示板を設置する
	地域活動のあり方を考える	<ul style="list-style-type: none">・自治会やコミュニティなどのあり方を考え、役割分担や負担軽減に取り組む
行政	地域の活動へのサポート	<ul style="list-style-type: none">・イベントに対する安全面のサポート・地域イベントの場所や準備物を提供・地域イベントを協賛する・地域交流の状況を整理し、発信する 取組事例の発表 若い人向けにSNSを用いて配信する 紙媒体のお知らせを、駅や商店、コミュニティセンターに置く

1. 地域活動のあり方や役割を考える



2. 高齢者が気軽に地域で活動できるような環境をつくる

【提案内容】

駅前から離れたニュータウンなどでは、近くに歩いて行ける施設が少なく、出かける機会が減少するため、地域との交流が少なくなっている。

そのため、高齢者が社会と触れ合える環境をつくる必要がある。

「提案2」の実現に向けて、それぞれが行うこと

個人

高齢者自ら地域イベントに興味を持って出向いてみる。

地域のイベントなどにボランティアとして参加する。

地域

高齢者が出かけられる場所やイベントについて、ポイントを絞って情報提供する。

高齢者のニーズに合ったイベントを提供する。

高齢者が活動できる労働環境や、集える場所をつくる。

行政

高齢者へのサービスや出かけやすいスポットをPRする。

外出できる環境を整備する(巡回バスなどの足の確保)。

近隣自治体と連携した公共施設や公共交通のサービスの提供を検討する。

民間事業者や学生団体と協力し、サービスの中継役を担う。

民間企業、 NPO等

行政と連携し、サービスを提供する。

その他の意見

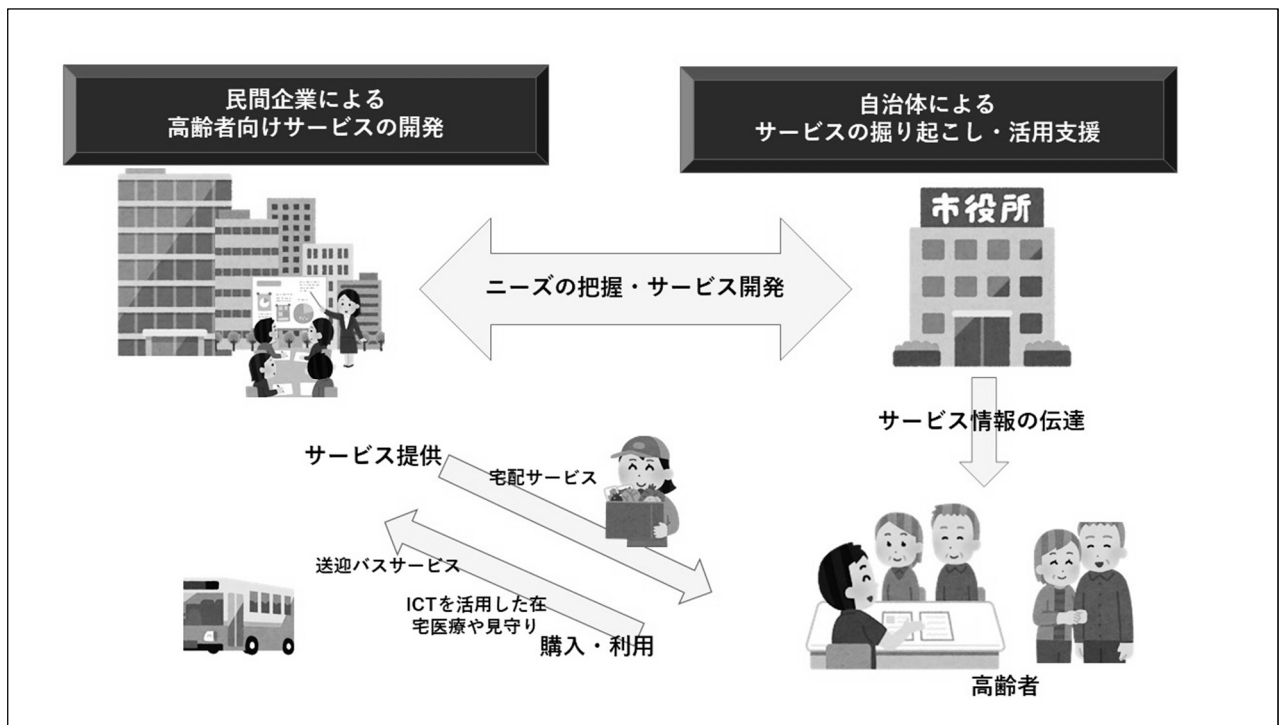
定年後に地域活動に入るのでは遅い。

～提案内容の具体的なイメージ～

主体	取り組み内容	具体的なイメージ
地域	高齢者が活動できる環境や、集える場所をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の登下校の見守りを依頼 ・ボランティアの募集と希望など人材をコーディネートする
行政	民間企業やNPO法人の協力を求めて、地域に提供できるサービスを仲介する	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者同士のスーパーでの購入品の宅配サービス(有償)

～具体的な施策提案～

1. 既存の資源（民間事業者のサービス）を活用した高齢者の活動支援



3. 災害発生時にお互いを支えあえるような地域交流を行う

【提案内容】

災害が発生した際、行政がすぐに助けてくれるわけではなく、家族や地域との助け合いが必要になる。そのためには日ごろから地域交流が重要だが、十分に支えあえる関係が整っていない。そのため、一人暮らし高齢者などの災害時に支援が必要となる方を含め、地域全体で支えあえる地域交流を行う必要がある。

「提案3」の実現に向けて、それぞれが行うこと

個人

自分で防災マップを作るなど、まずは一人ひとりが防災意識を持ち、対策をとる。
 普段から近所の人と情報交換、コミュニケーションを行う。
 災害時に支援が必要となる方を把握する。

地域

地域で防災マップを作る。
 地域で訓練を繰り返し実施する。
 地域単位で避難場所へ避難する判断を共有できるネットワークを作る。

行政

市民に災害のリスクや経験を積極的に発信し、防災意識の向上を図る。
 地域住民が発災時の対応を学ぶためのアイデアや情報を提供する。
 詳細版の防災マップを作成し、周知徹底する。
 災害時の安否確認ネットワークを構築する(IT活用)。

民間企業、 NPO等

地域と協力し、防災活動を行う。

その他の意見

防災マップがどこにあるかわからない。危険箇所を周知してほしい。

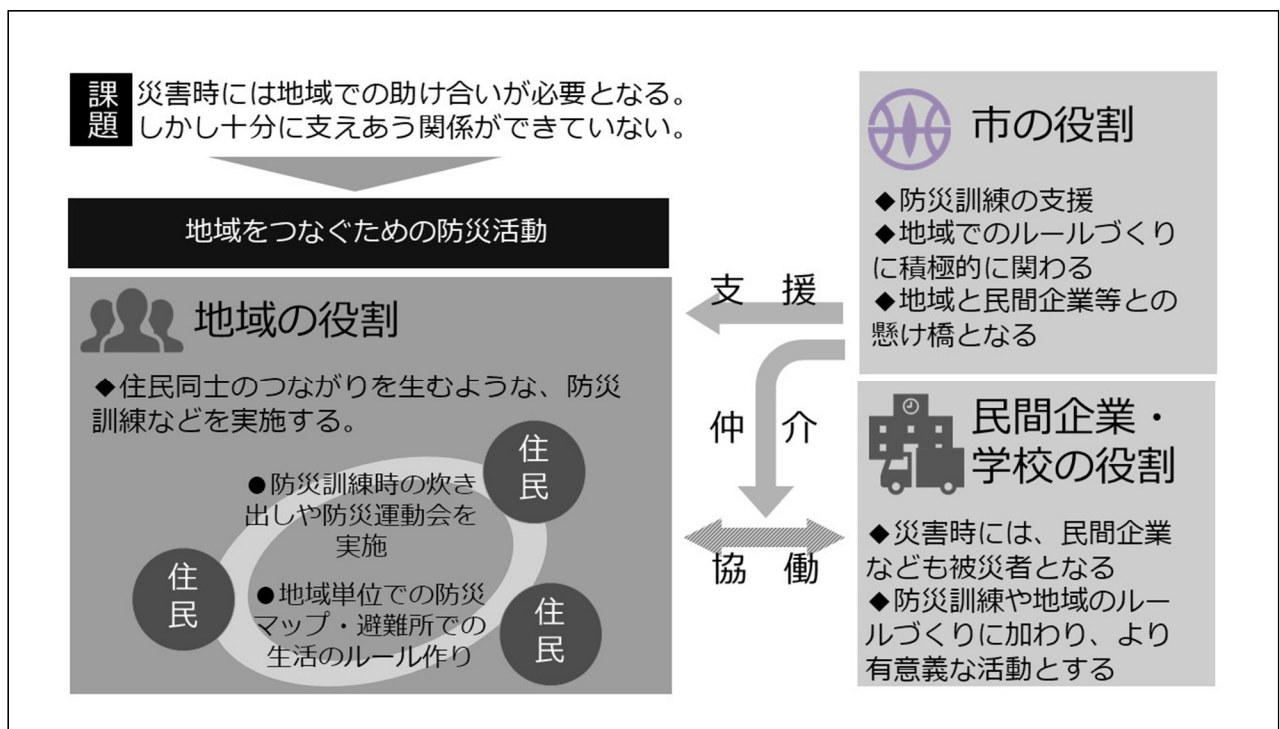
個人情報の問題があるが、災害発生前に支援を必要とする情報を知っておけば助かるのではないか。

～提案内容の具体的なイメージ～

主体	取り組み内容	具体的なイメージ
地域	防災訓練の実施	・コミュニティの運動会に防災訓練を織り交ぜる 地域ごとの安否確認競争など
地域	地域版防災マップの作成	・地域単位の防災マップを作成し、防災に役立つ 情報を載せたガイドブックを作成する

～具体的な施策提案～

1. 地域をつなぐための防災活動



4. 地域活動の情報を集約し、誰もが手軽に情報を手に入れることができる仕組みをつくり、地域交流を促進する。

【提案内容】

地域の取り組みの情報は各団体がそれぞれの方法で配信しているが、必要な人に必要な情報が届いていない状況にある。

そのため、地域の各団体の情報を集約し、誰でも必要な情報を手軽に手に入れる仕組みをつくる必要がある。

「提案4」の実現に向けて、それぞれが行うこと

個人

- どのようなサービスやイベントがあるのか調べる。
- イベントへ参加する。
- イベントのボランティアとして参加する。
- 近隣住民と情報交換を行う。
- #(ハッシュタグ)で情報を投稿する。
- ブログなど個人でできる情報配信を行う。また確認する。

地域

- カレンダー形式に集約して情報発信する。
- 集約した情報の発信に SNS やポスターを活用する

行政

- 情報配信用のブログなどのウェブサイトを立て上げる。
- 地域団体の情報配信の取り組みに企業や学生への協力が得られるよう、バックアップ・コーディネートを行う。
- イベント情報を事前に投稿する
- プッシュ通知の機能を活用できる仕組みを作る。

民間企業、NPO等

- イベント等の情報を発信し、地域交流の場を創出する。

その他の意見

匿名で行う SNS では住んでいる地域を公表したくないため、地元の情報が伝わりにくいのではないか。

祭りなどのイベントの際に SNS 投稿を促してはどうか（#川西マガジンなどの見やすいものを指定して投稿するように促す）

～提案内容の具体的なイメージ～

主体	取り組み内容	具体的なイメージ
地域	分野・地域別の情報配信	【配信内容】 ・従来の自治会情報に加え、地域の店舗・施設情報や口コミ情報、ボランティア募集情報、イベントカレンダー等を盛り込んで配信する。 【配信方法】 ・年代に応じた配信を実施 若者：スマホの SNS 配信 高齢者：手作り感のある紙媒体での配信 ・分野別、施策別、地域別に表示できるようにし、時間割を作って情報配信する
行政		・情報配信用のブログなどのウェブサイトを立ち上げ。 ・地域団体と企業・学生間のコーディネート

～具体的な施策提案～

1. 分野・地域別の情報配信

